

中小企業景況状況

射水商工会議所管内（新湊地区）における中小企業の景気動向を定期的に把握し、情報の提供並びに射水商工会議所が行う経営支援の基礎資料に資するため、四半期毎に定点観測を実施する。第3回目として、平成28年10～12月期実績および平成29年1～3月期見通しを対象期間として調査した。

《回答企業内訳及び回答率》

業種	対象企業数	回答企業数	回答率 (%)
製造業	10	10	100%
建設業	10	10	100%
小売業	10	10	100%
サービス業	10	10	100%
卸売業	10	10	100%
合計	50	50	100%

※本調査でのD.Iとは、ディフュージョン・インデックス（景気動向指数）の略で、各調査項目について、前年同期比および前期（四半期前）と比較して増加（上昇・好転）企業割合と減少（低化・悪化）企業割合の差を示すものである。

《主要景況項目》

○産業全体 → [全産業](#)

- 業況判断D.Iは、前期比22.7ポイント好転し10.2ポイントとなった。来期は15.0ポイント悪化の△4.8ポイントを予想している
- 売上額D.Iは、前期比30.2ポイント増加し8.2ポイントとなった。来期は13ポイント減少の△4.8ポイントを予想している。
- 採算D.Iは、前期比11.9ポイント好転し、16.0ポイントとなった。
- 資金繰りD.Iは、前期比10.1好転し、△2.1ポイントとなった。

○産業別

- サービス業は前期と比較して売上額は減少し、業況も10ポイント悪化した。今後の業況は、現状維持の見通しである。 → [サービス業](#)
- 建設業は、採算（経常利益）は10ポイント・業況は30ポイント好転した。業況は今後も好転する見通しである。 → [建設業](#)
- 卸売業は、前期と比較して売上単価・売上額共に、増加している。業況は今後も好転する見通しである。 → [卸売業](#)
- 製造業は、売上単価が上昇し、売上額も増加したが、業況は12.2ポイント悪化した。今後の業況は、悪化の見通しである。 → [製造業](#)
- 小売業は、業況・採算（経常利益）共に10ポイント悪化した。今後も業況は悪化の見通しである。 → [小売業](#)